

福島県立博物館 令和3年度特別講座

詩人のいる博物館②

写真の力／言葉の力

1月15日(土)

13:30～15:00

福島県立博物館
講堂



講師：和合亮一さん（詩人）
アイリーン・美緒子・スミスさん
（写真家／環境ジャーナリスト）

和合亮一（Wago Ryouichi）

詩人。国語教師。中原中也賞、晩翠賞、福島県文学賞、NHK東北文化賞など受賞。震災後に福島から発信した詩をまとめた「詩の礫」がフランスにて詩集賞受賞（日本文壇史上初）。最新刊「QQQ」にて本年度の萩原朔太郎賞受賞。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。

アイリーン・美緒子・スミス（Aileen Mioko Smith）

スタンフォード大学在籍中にユージン・スミスと出会い、アシスタントに。71年ユージンと結婚（78年離婚）、水俣の取材を開始。75年に写真集『MINAMATA』（80年に日本語版、三一書房）をユージンと出版。1991年、脱原発と温暖化防止を目指す市民グループ「グリーン・アクション」を創設、現在も同団体の代表を務めている。

参加費：無料

要申込（定員100名、12月15日から受付開始）

お電話（0242-28-6000）または福島県立博物館受付カウンターでお申し込み下さい。

福島市在住の詩人・和合亮一さんをホスト役講師に開催する特別講座「詩人のいる博物館」。
今年度もゲストをお招きし3回にわたって開催します。

今年度の2回目は、写真家で環境ジャーナリストのアイリーン・美緒子・スミスさんにお越しいただき、「写真の力／言葉の力（仮）」と題してお送りします。

今年公開となった映画「MINAMATA」は、水俣病を世界に発信したユージン・スミスさんとアイリーン・美緒子・スミスさんの写真の力を、あらためて私たちに教えてくれました。水俣に暮らし、水俣の人々に寄り添いながら生まれた写真が伝えてくれたことは、東日本大震災と原発事故後に福島を言葉でつたえ続けている和合さんの活動と共鳴するよう思えます。

本講座では、写真や言葉という芸術の、残し、伝える力について、お二人の対話から考えます。

ぜひご参加ください。

※講座の様態を収録し、後日博物館公式 YouTube チャンネルで公開予定です。

会場に撮影機材およびスタッフが入りますことをあらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定が変更になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。